

## 1. アンケートの概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の働き方をはじめとする経営全般に関し、見直しを余儀なくされた中小・小規模企業（※実際のアンケートの対象は、より幅を広げて実施）が、今後、「感染拡大の防止」と「事業活動の段階的な引き上げ」を両立し、社会の変化に対応できる「新しい働き方改革」の取組みを、全県へのアンケート調査を通じて検証した。

さらに、新聞記事等の情報も加味し、モデル的な経営を実施している事業所（以下、「モデル事業所」と略す。）として選定し、このモデルの横展開を図っていくことを目的に本事業を実施した。

事業実施にあたっては、経済団体をはじめ学識経験者の方、労働団体、業界団体等のご協力をいただき、業種や企業規模、エリア等の偏りを可能な限り少なくすることができ、県内中小・小規模事業者等に対し、広くアンケート調査を実施することができた。

アンケート調査の内容等については、専門家や経済団体を構成メンバーとする「スマートライフ応援事業・アンケート検討会（以下、「委員会」と略す。）」を設け、ご意見をお聴きして決定した。

コロナの影響の状況からはじまり、「職場環境の改善」「労務の改善」「事業の改善・工夫」「新規ビジネスの実施」などについてお尋ねする内容とし、次のとおり取りまとめることができた。

各業種の概況とモデル事業所の取組みを、今後の経営等の参考としていただきたい。

### (1) アンケートの送付数等

県内企業総数、約36,000社の10%程度へのアンケートを発送すること目標にし、経済団体（徳島県商工会議所連合会、県内6商工会議所、徳島県商工会連合会、県内23商工会、徳島県中小企業団体中央会、徳島県経営者協会、徳島県中小企業家同友会）をはじめ、業界団体等も含め、広くアンケートへの協力をお願いした。

各方面の協力をいただき、次のような結果となった。

アンケートの送付数	4,802件
うち、回答数	1,229件
うち、企業名記入あり	725件
うち、取材承諾の企業等	87件（※モデル事業所の対象）

結果として、目標としていた送付数を、1,200件程度上回る、多くのご協力をいただいた。

また、回答数も、直接的な依頼（電話や訪問での催促等）を行わなかったが、1,229件と、約25%という想定より高い回答率となったが、この理由として、

- ・各企業におかれては、コロナウイルス禍対応の多忙な中、一定の関心をいただいたこと。
- ・各経済団体を通してお願いしたこと。
- ・回答方法に、次項（2）のような工夫をしたこと。

など、関係者やご回答企業のご理解をいただいた結果と考えている。

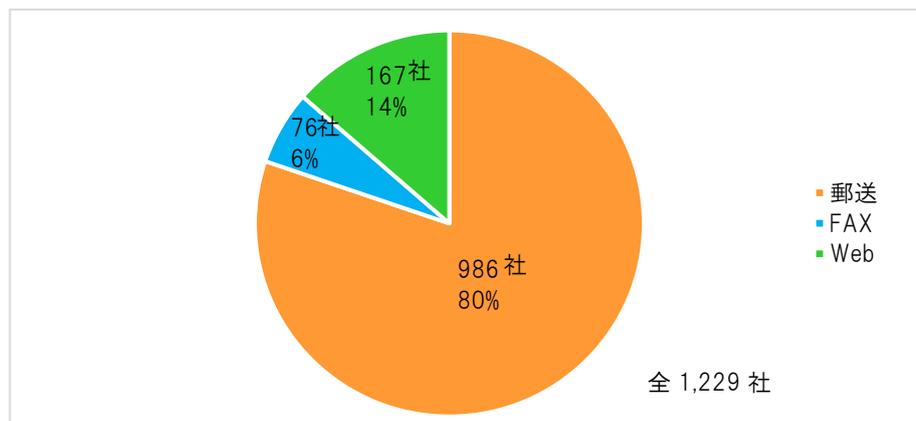
## (2)回答方法

回答しやすくするため、アンケート内容を簡潔（A4で3ページ）にするとともに、回答方法を4つご用意した。

- i：返信用封筒を同封し、返送していただく方法（料金後納）
- ii：ファックスで、返送していただく方法（このため、片面印刷とした。）
- iii：QRコードで読み取り、直接入力していただく方法（Googleフォームを活用）
- iv：当財団のホームページから入力していただく方法（QRコードと同じフォーマットであるが、ご意見やご要望等の記入を希望される方のため）

その結果、次のグラフのような回答方法の結果となったが、

- ・当初の予想に反し、ファックスによる回答数が意外に少なく、
- ・逆にiii、ivのウェブ上での回答が上回った。（なお、この2つについては、同じフォーム上に記入していただくため、合算した数字となっている。）



※アンケート用紙は、当財団 HP を参照して下さい。<http://toku-nw.com/>

※文体は、原則「である体」としましたので、ご了承下さい。

※年号は和暦で統一しました。